

自治会アンケート

1. 調査目的

本調査は、新居浜市内の自治会組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の市の自治会活動支援の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的として実施

2. 調査項目

自治会の運営、活動について

3. 調査方法

単位自治会長（306自治会）にアンケートを送付

該当する選択肢の番号に○をつけるか、記入欄がある場合は、具体的に文章で回答
質問によっては、複数回答可

4. 調査期間

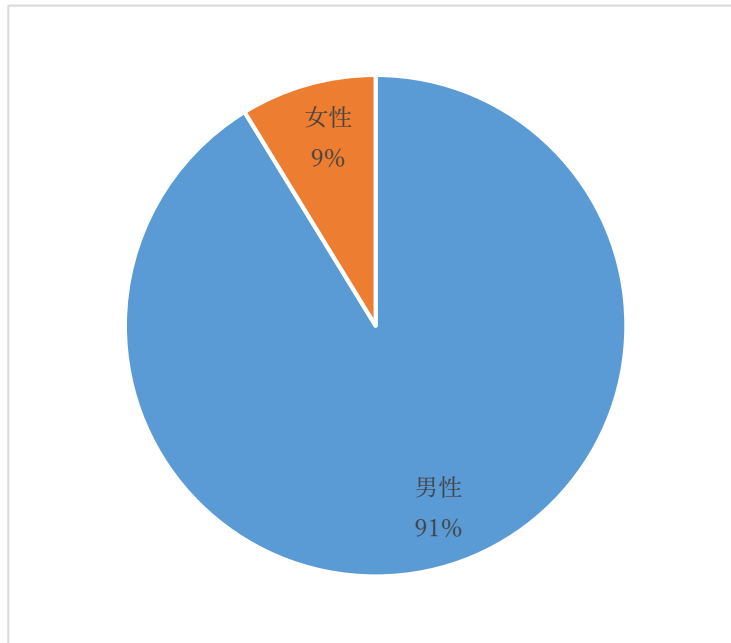
平成30年7月22日～9月10日

5. 調査結果

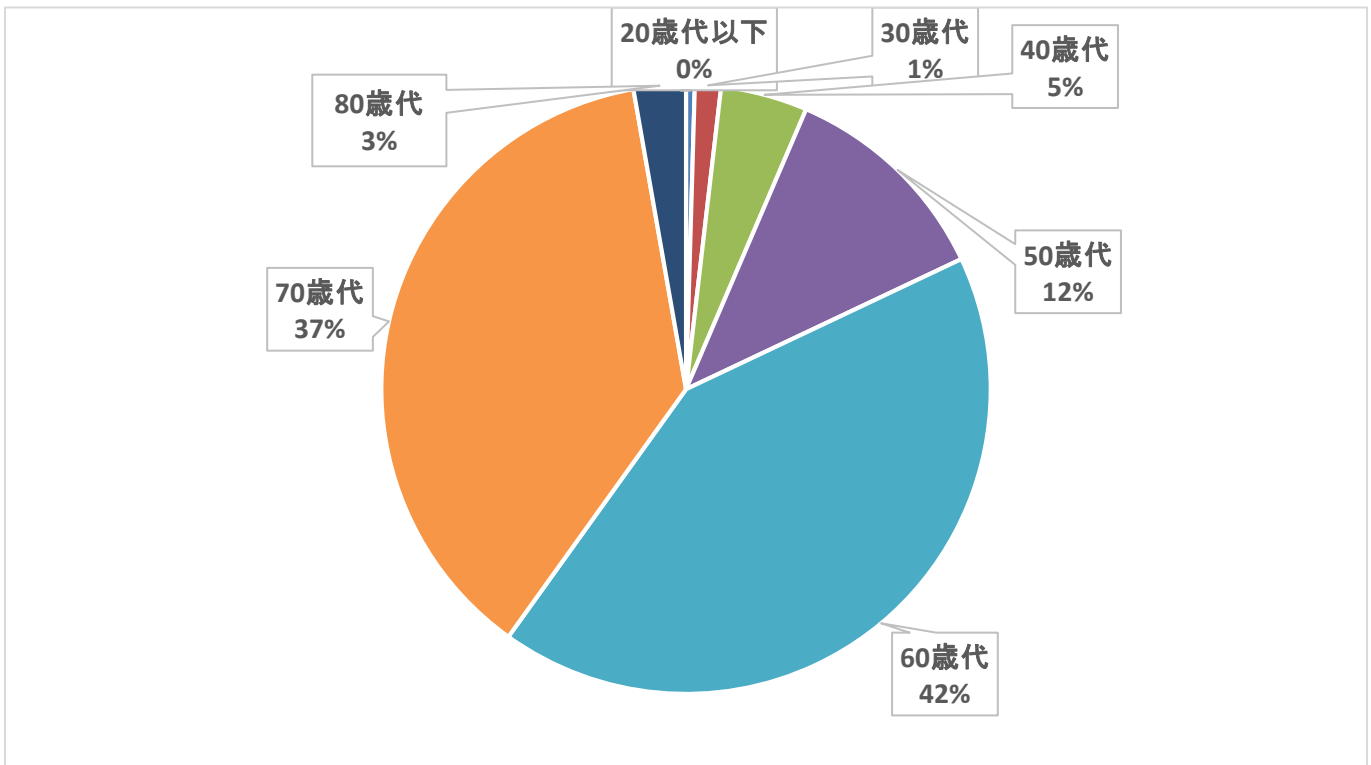
アンケート配布数	306自治会
アンケート回答数	217自治会
回収率	70.9%

1 自治会長について（アンケートにご回答時点での自治会長についてご回答ください）

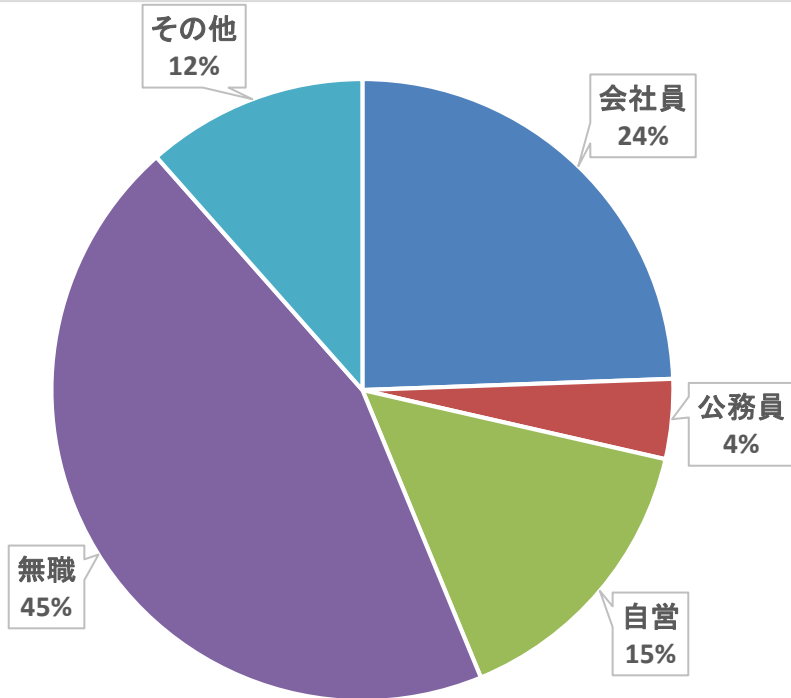
（1）会長の性別



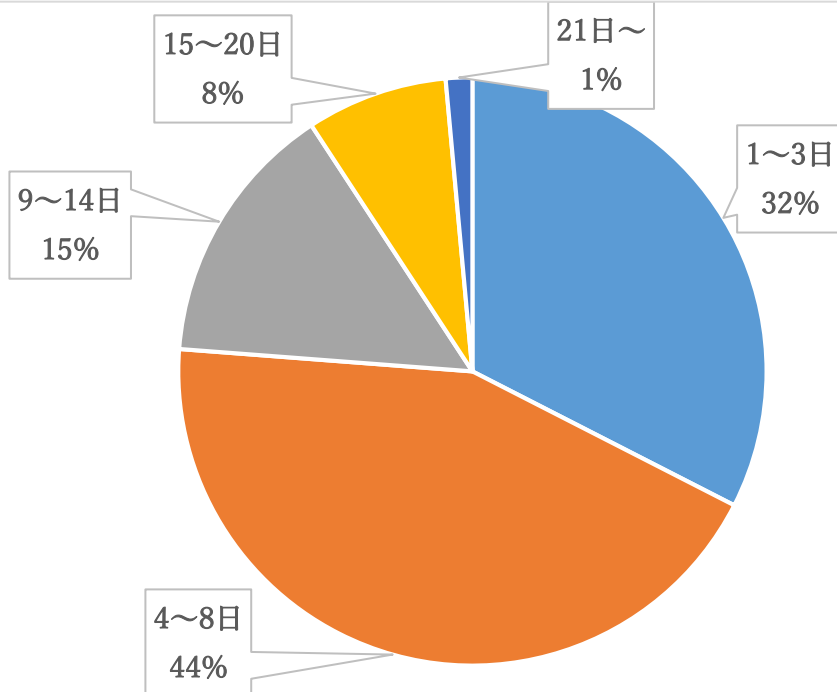
（2）会長の年齢



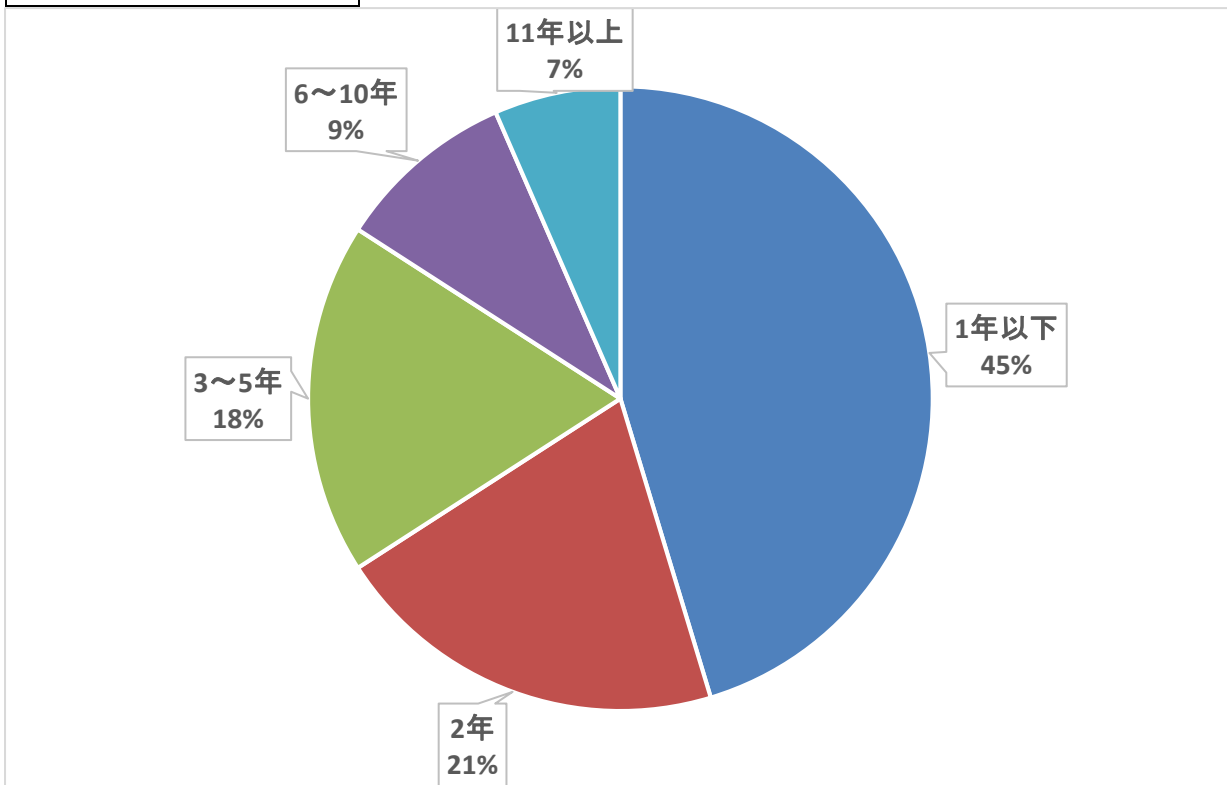
(3) 会長の職業



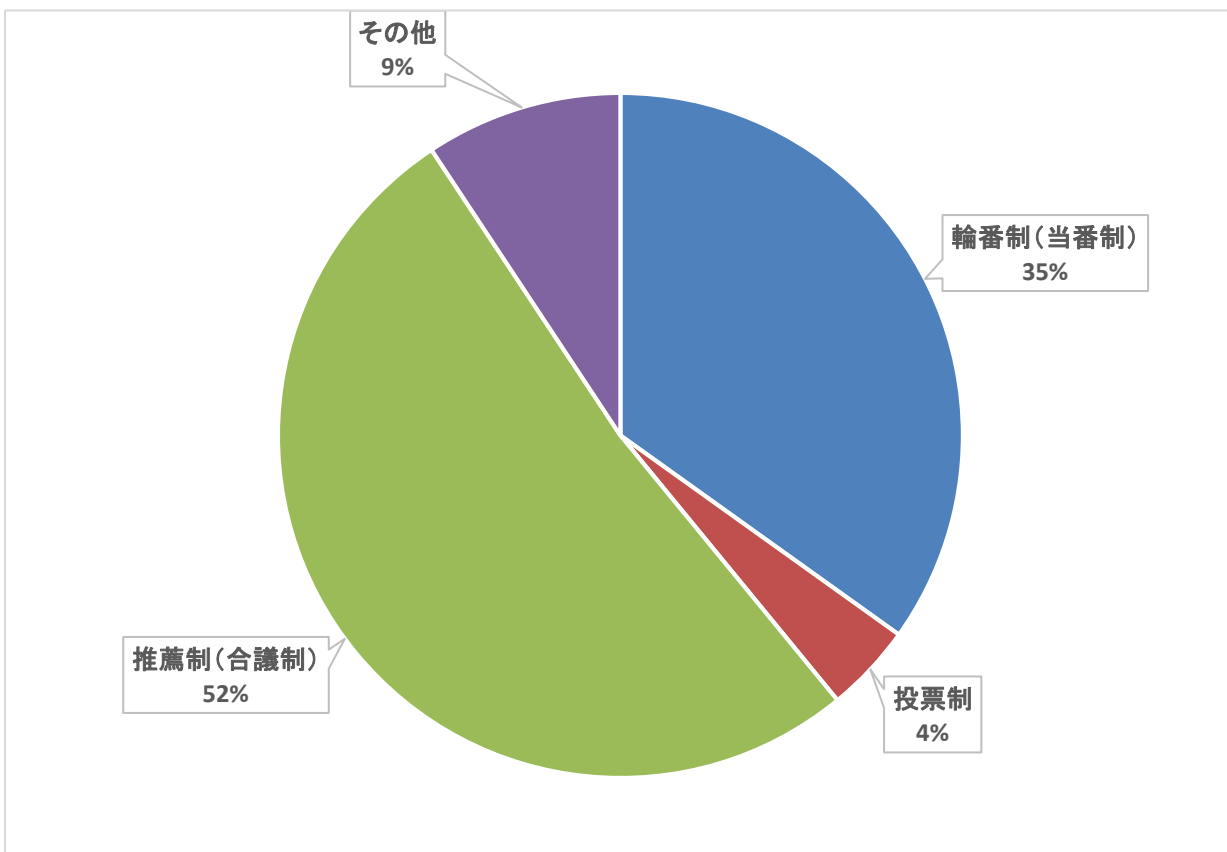
(4) 自治会活動に月に何日ぐらい従事されていますか。



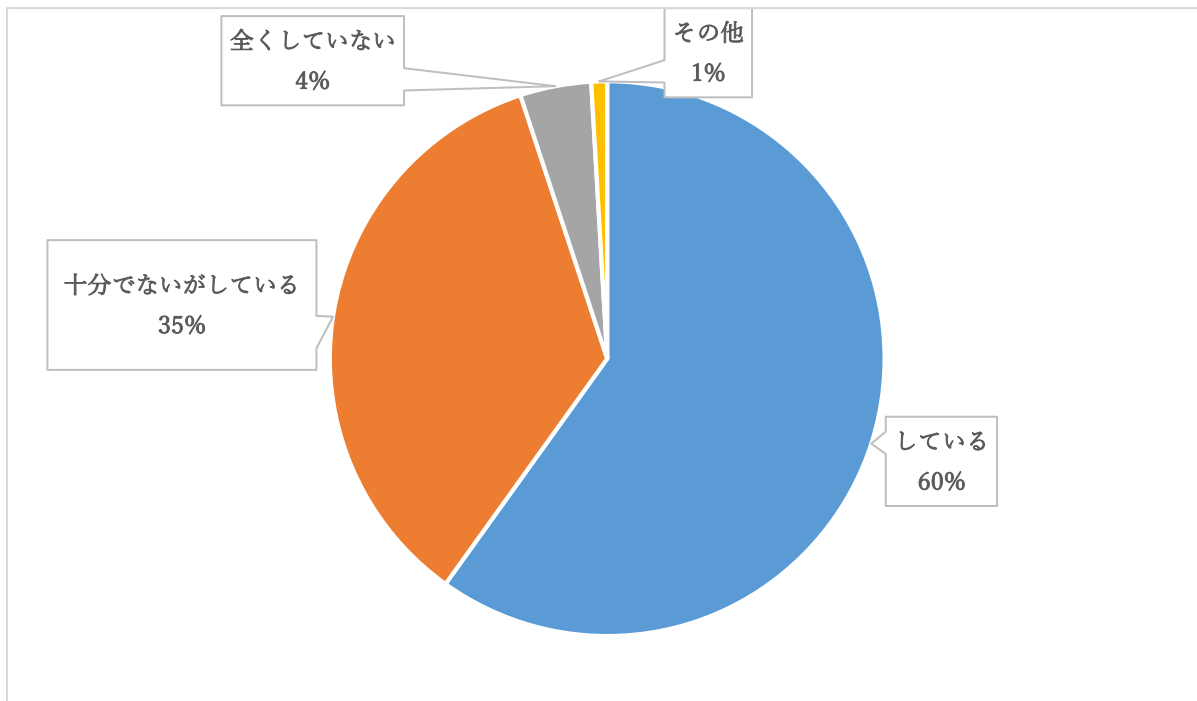
(5) 会長の在職年数は



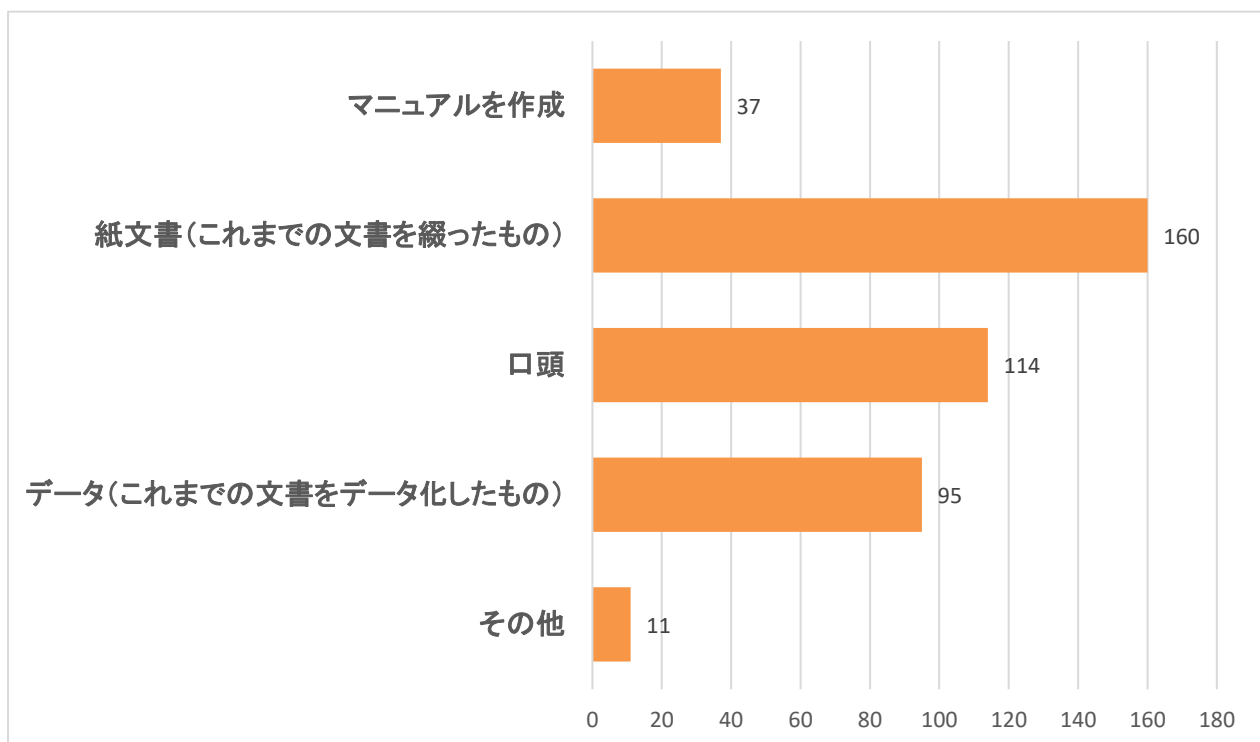
(6) 会長の選出方法について、該当するもの一つに〇をしてください。



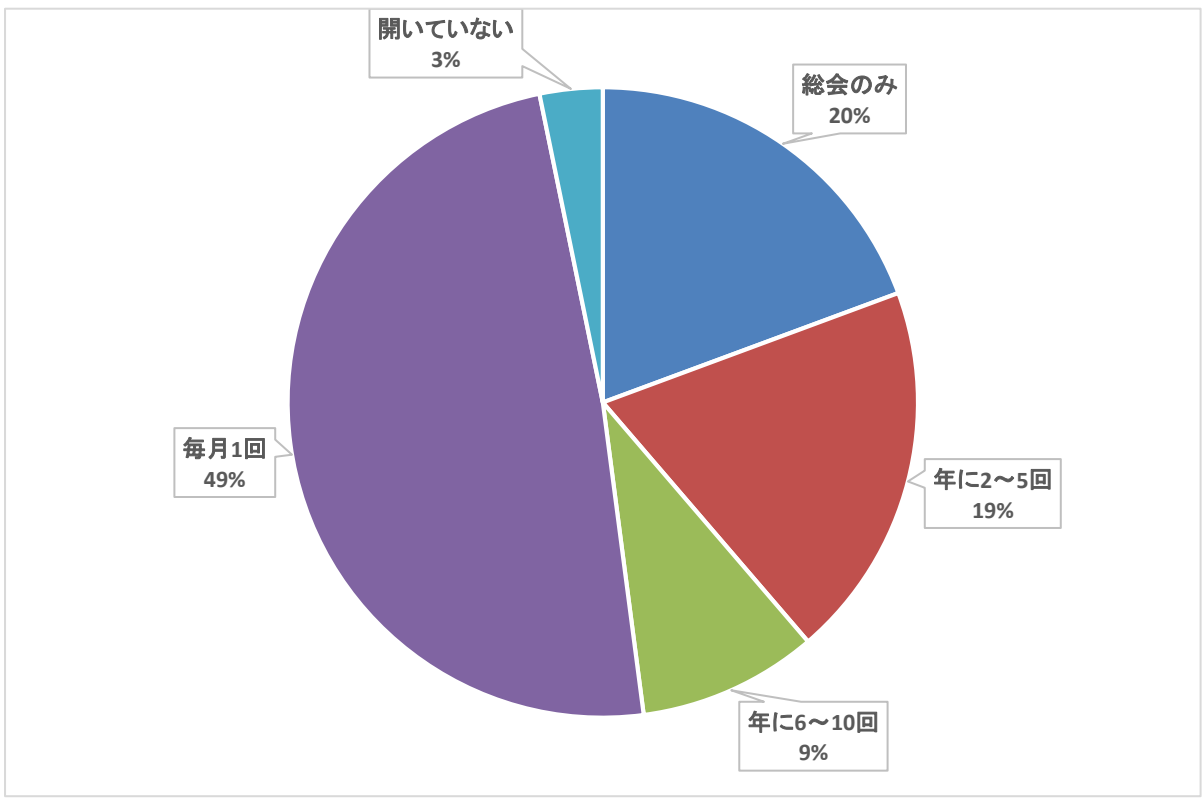
(7) 会長や役員の交代時に自治会業務内容の引継ぎはされていますか。



(8) 会長や役員交代時の自治会業務内容の引継ぎはどのような形でされていますか。該当するもの全てに○をしてください。(複数回答可)

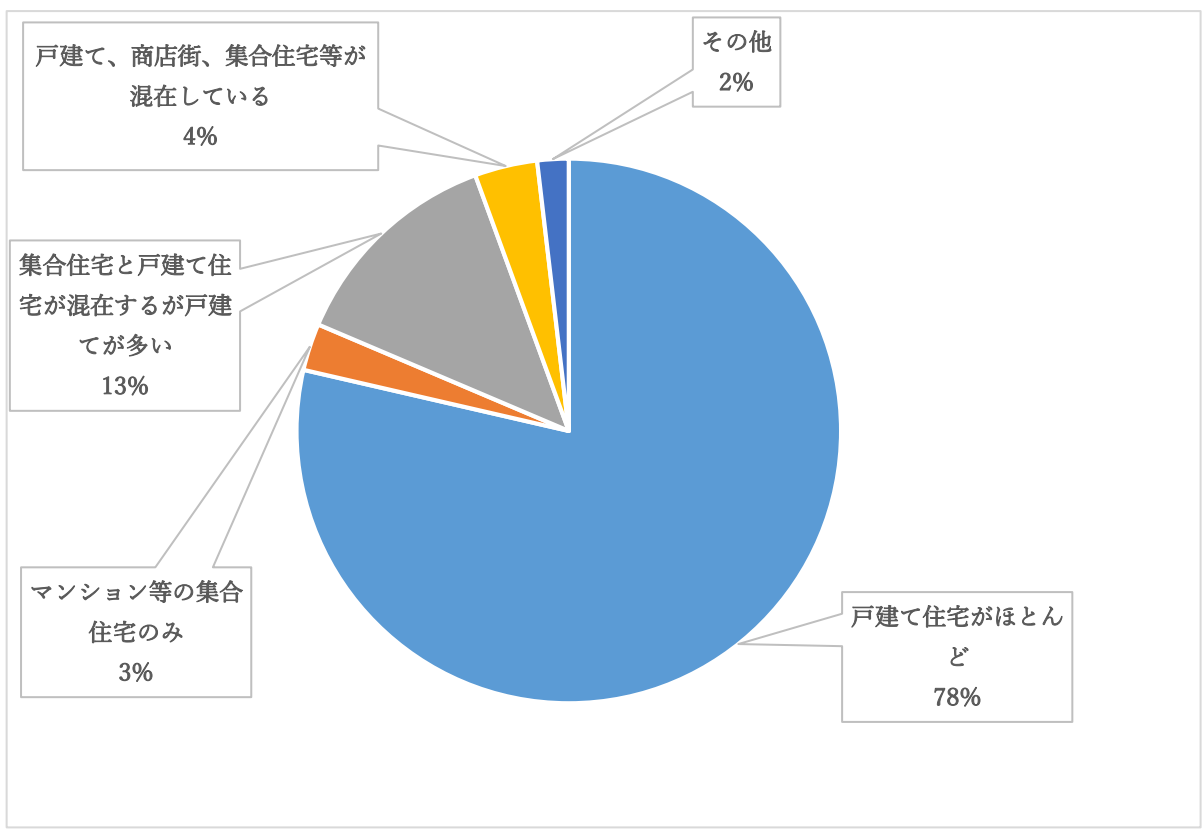


(9) 役員会は、年に何回開いていますか。

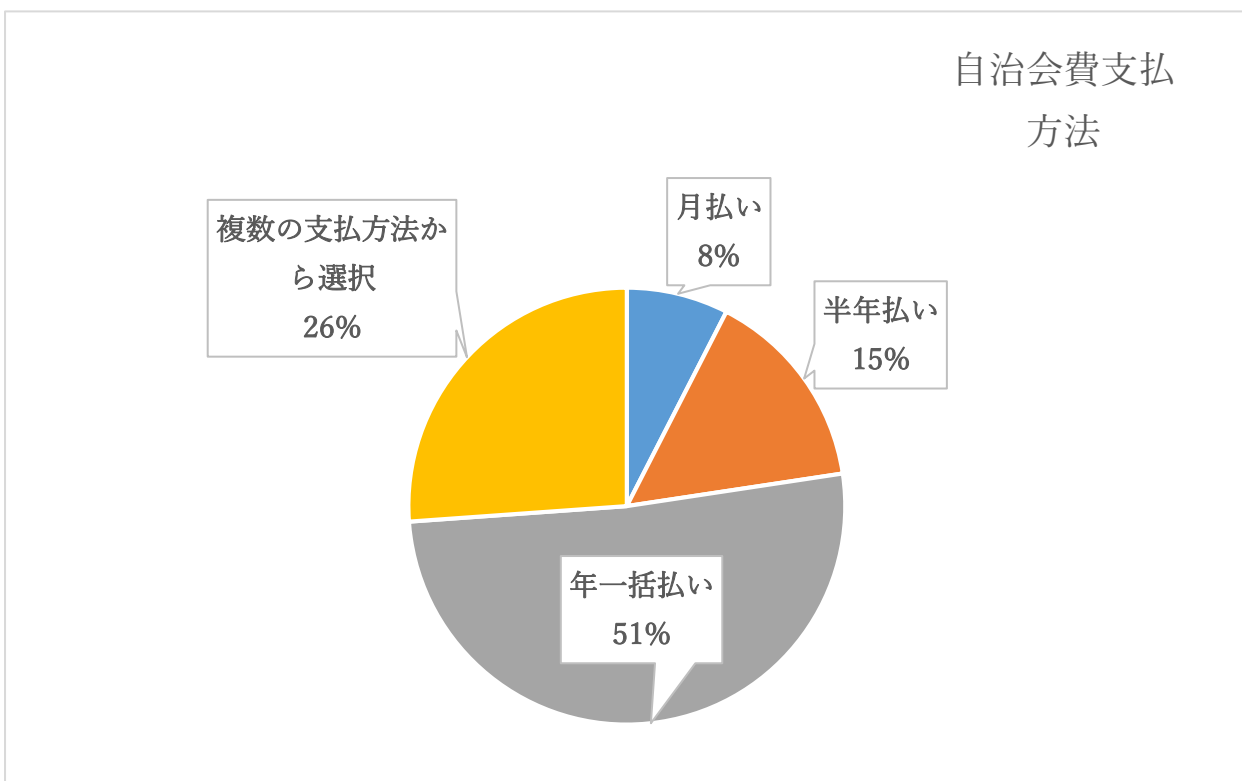
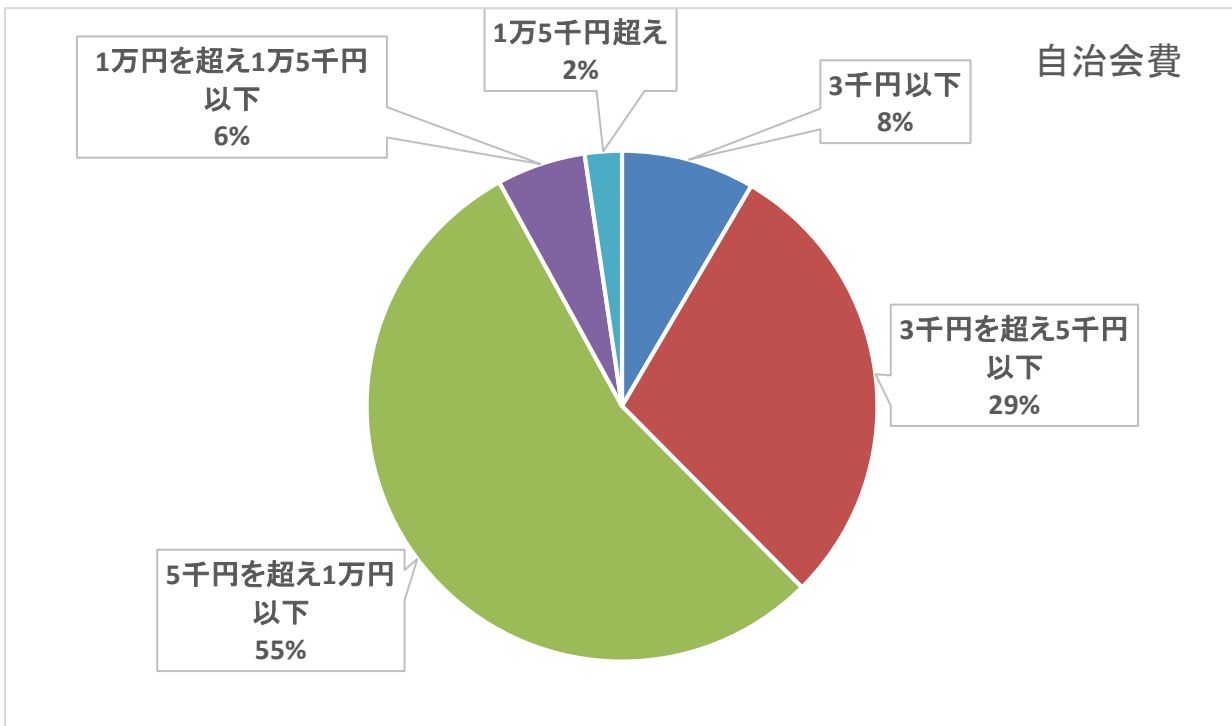


2 自治会について

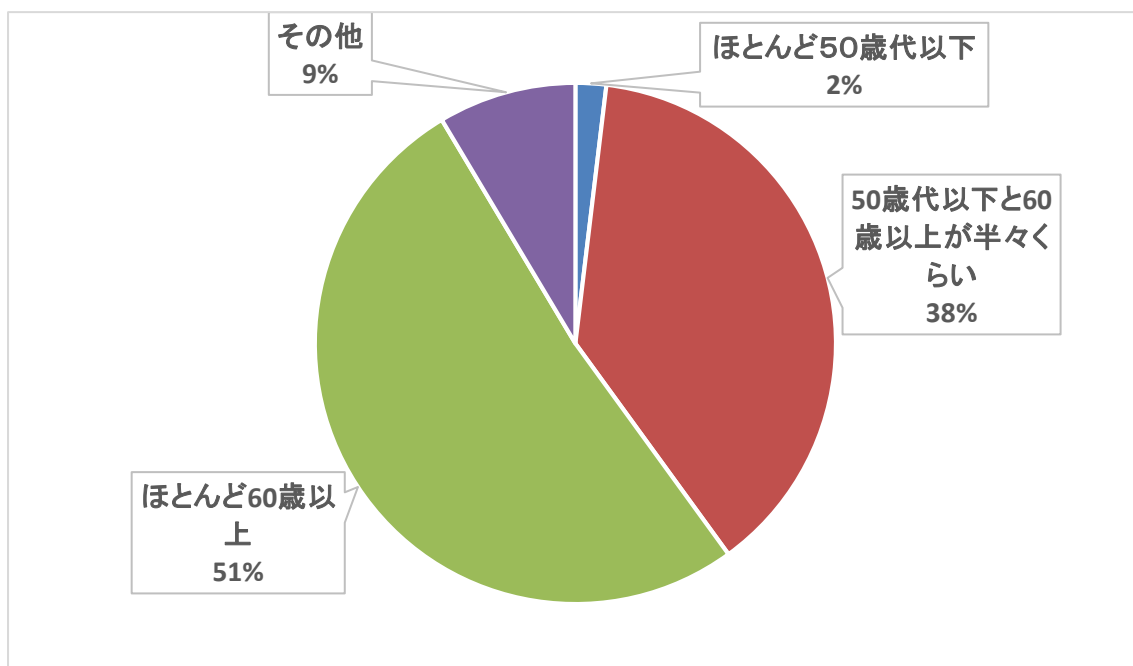
(1) 自治会の構成について、もっとも該当するもの一つに〇をしてください。



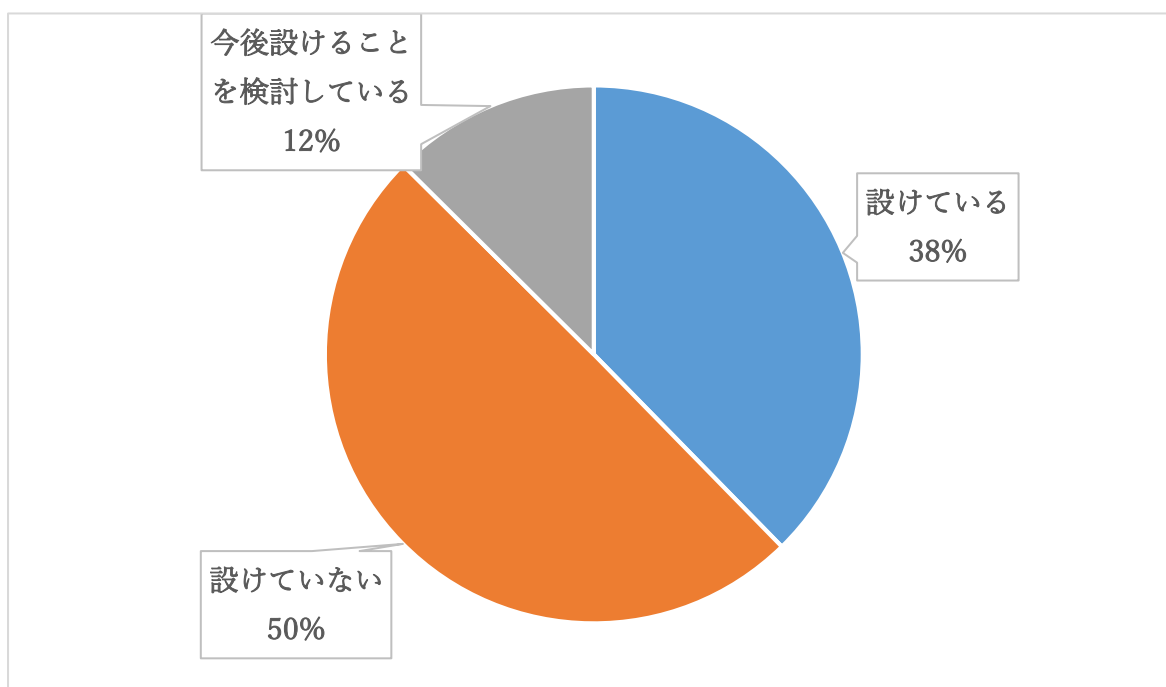
(2) 自治会費は年間世帯当たりいくらで、会費の徴収はどのようにされていますか？



(3) 自治会員の年齢構成について、該当するもの一つに〇をしてください。



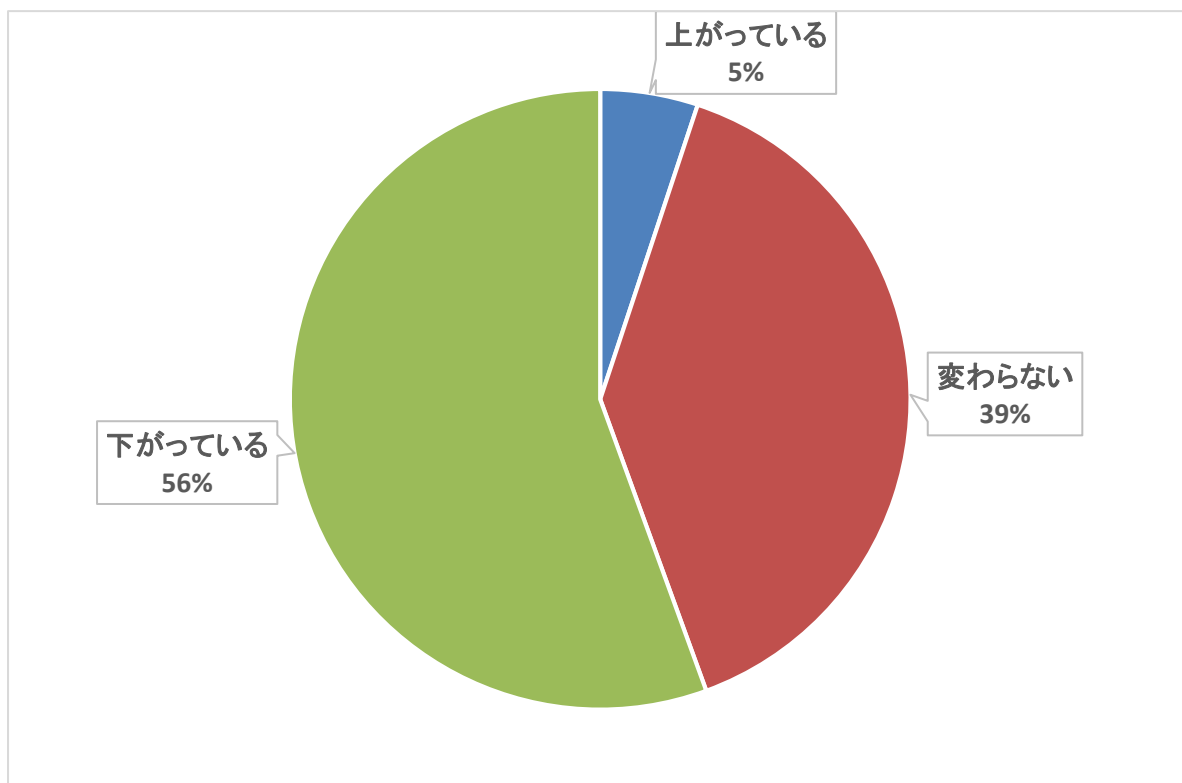
(4) 高齢者などを対象として、役員の免除や会費を軽減するような制度を設けていますか？



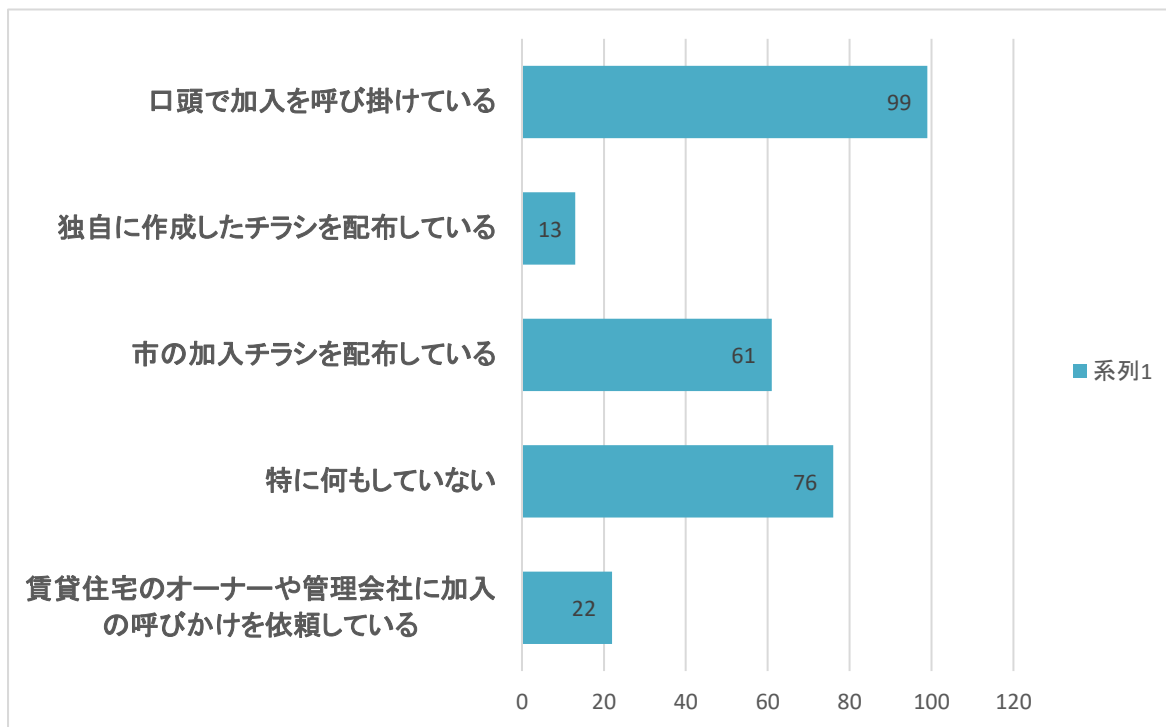
軽減制度例

一定年齢以上で役員免除、独居老人は会費免除、介護世帯は役員、会費免除
組によって定年制を設けている、掃除当番免除、自治会費半額

(5) ここ数年の自治会加入率の推移について、該当するものに○をしてください。

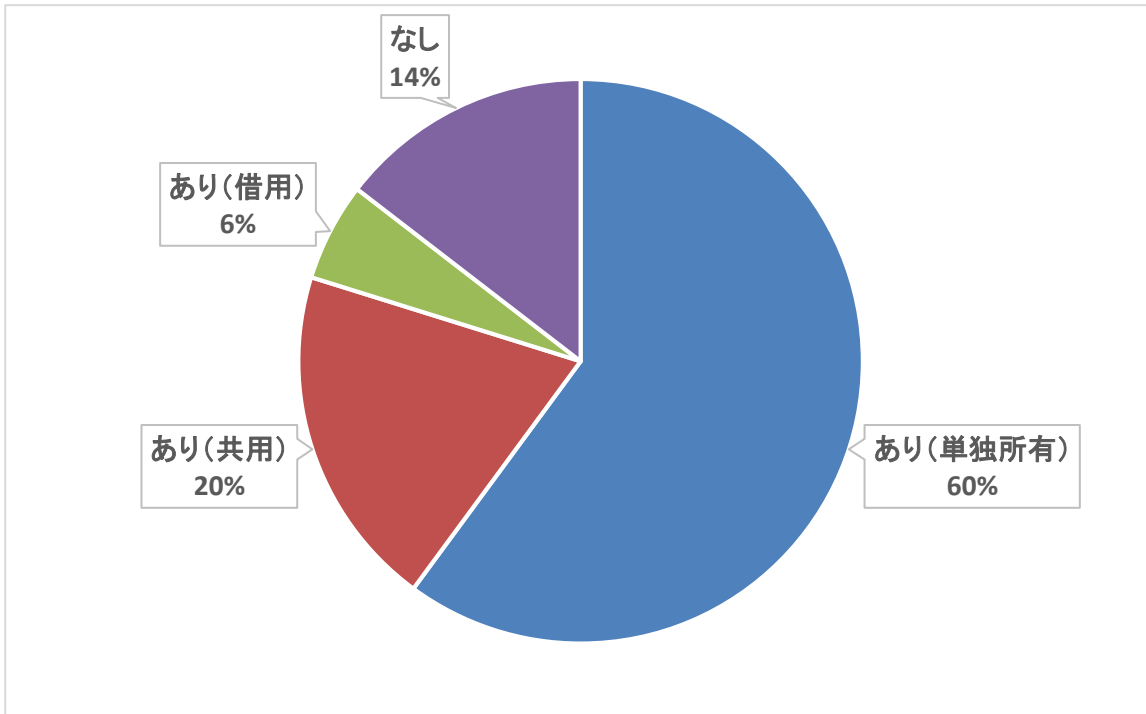


(6) 加入者を増やすための取り組みをしていますか。該当するもの全てに○をしてください。



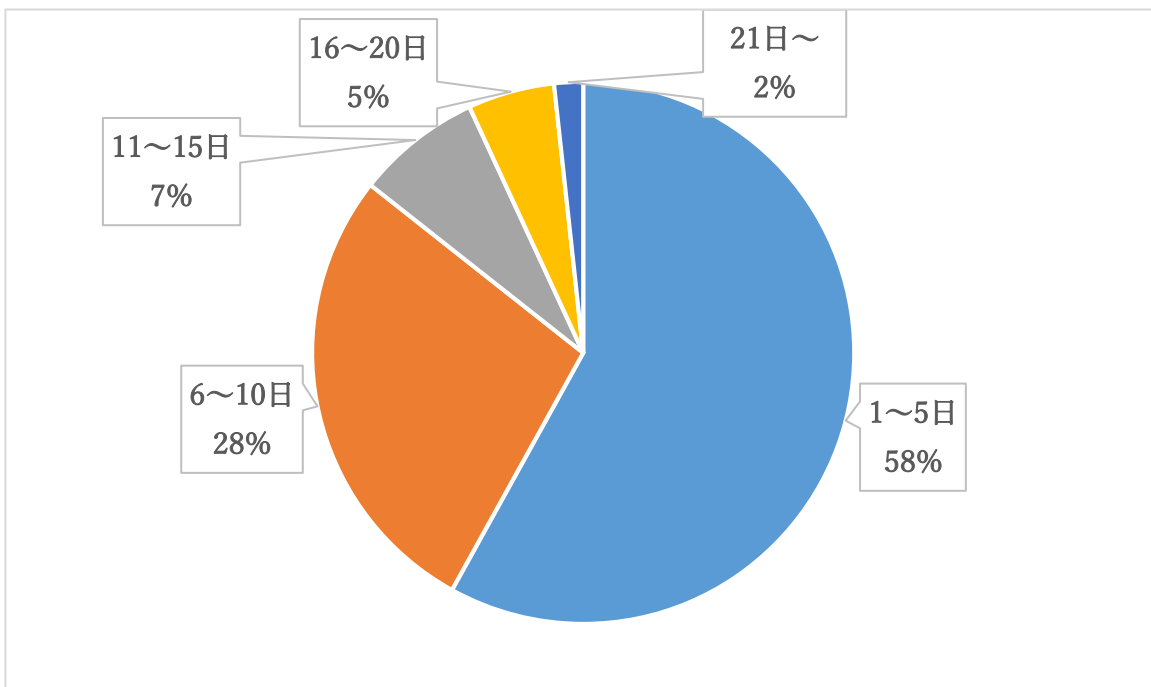
3 自治会館について

(1) 自治会が使用する会館（建物）がありますか？該当するもの一つに〇をしてください。

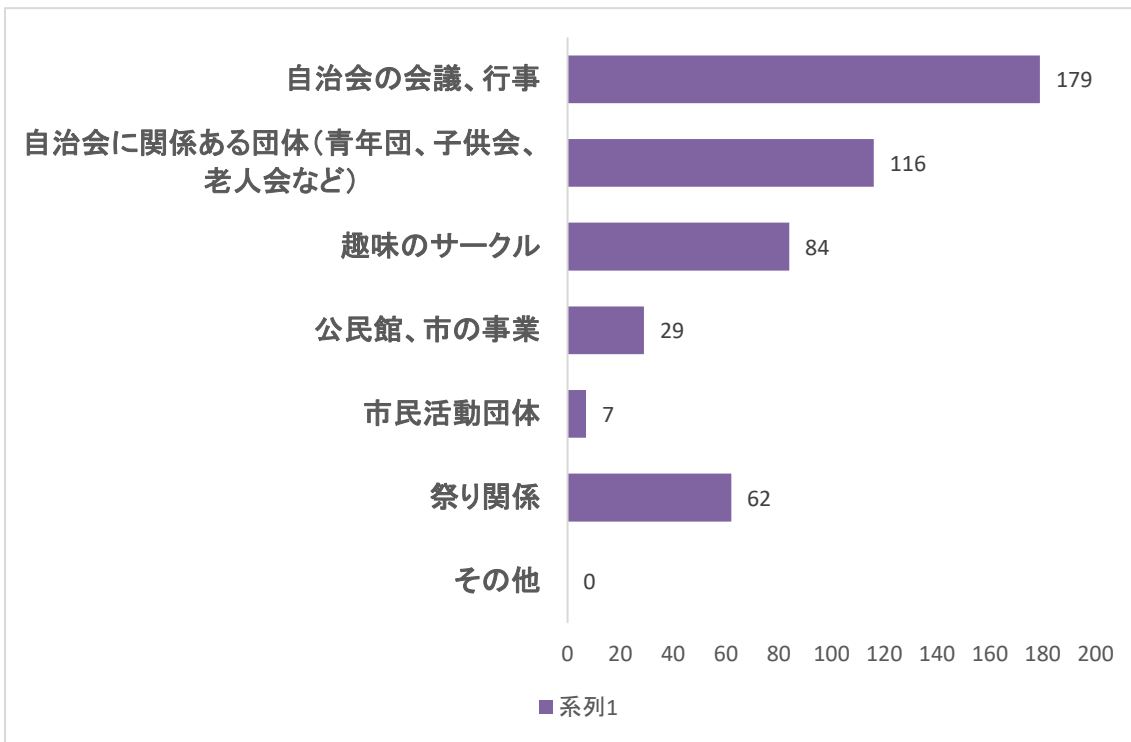


(2) 会館の利用状況についてご記入ください。

会館は月に何日程度利用されていますか？

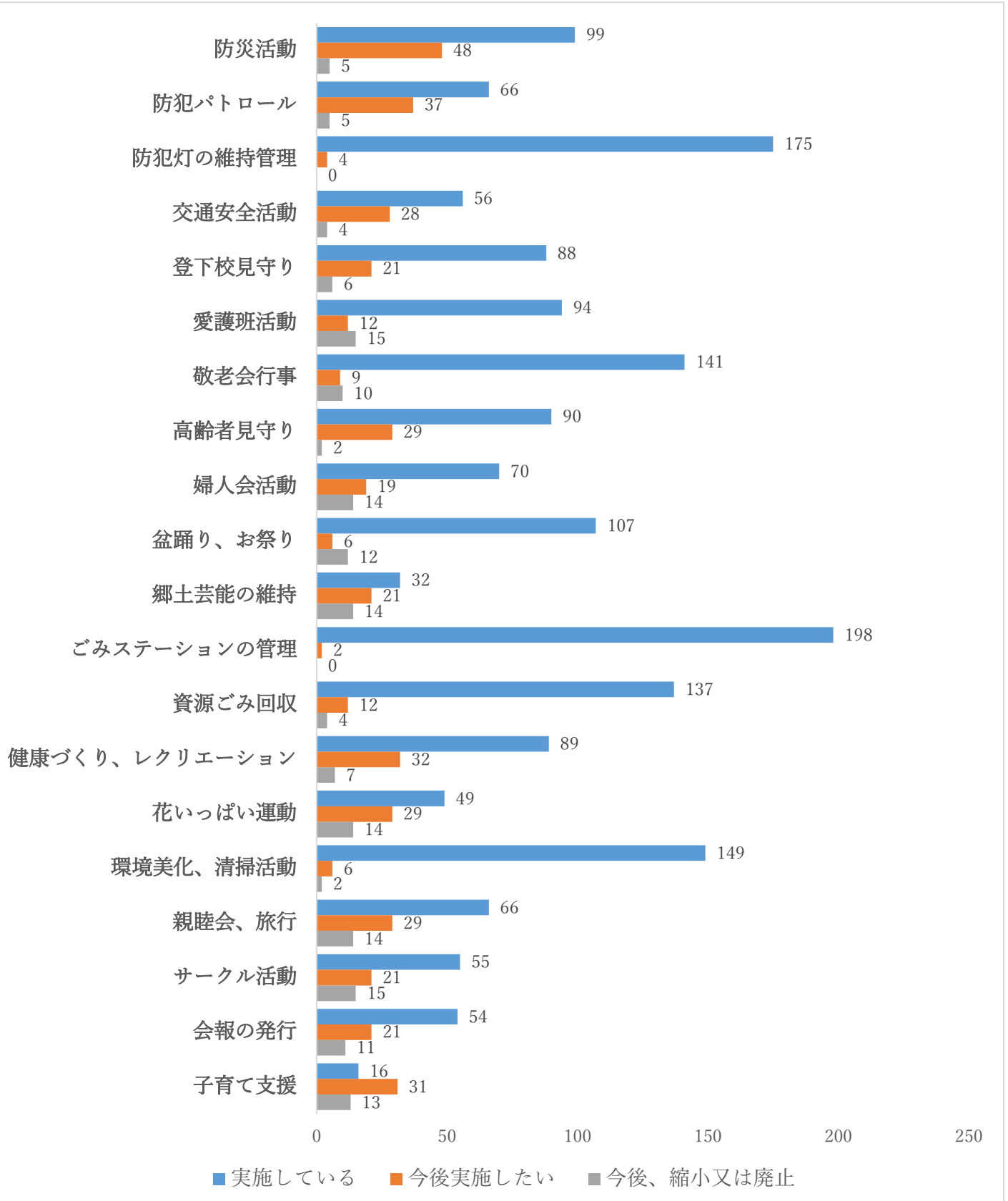


• 主な利用目的（団体）について、該当するもの全てに○をしてください。（複数回答可）

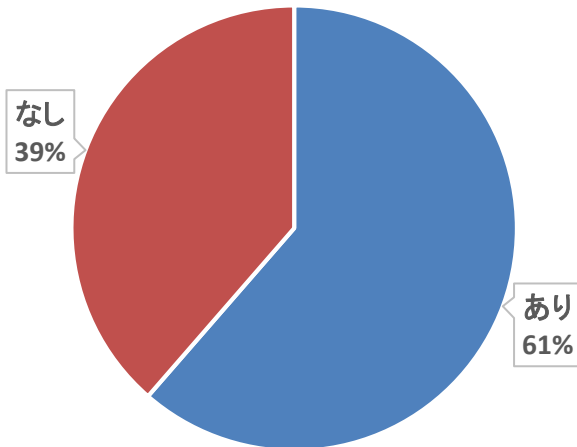


4 自治会の活動について

(1) それぞれの事業に関し、「㊸実施している」「㊹今後実施したい」「㊺現在、実施しているが今後、縮小又は廃止したい」について、表の該当する欄全てに〇をしてください。(複数回答可)



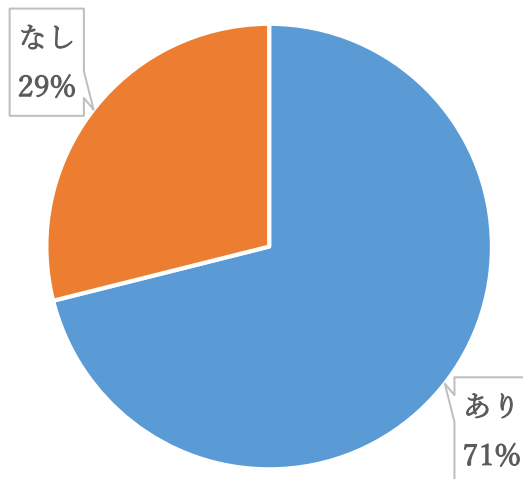
(2) 水路清掃（井手さらい等）の実施はありますか。



(3) (2) であると答えた方のみお答えください。不参加の場合、罰則がありますか。

罰則 協力金支払い（500円から5000円）
市民一斉清掃参加、別の日の清掃に参加

(4) 自治会未加入世帯のごみステーションへのごみの受け入れはありますか。



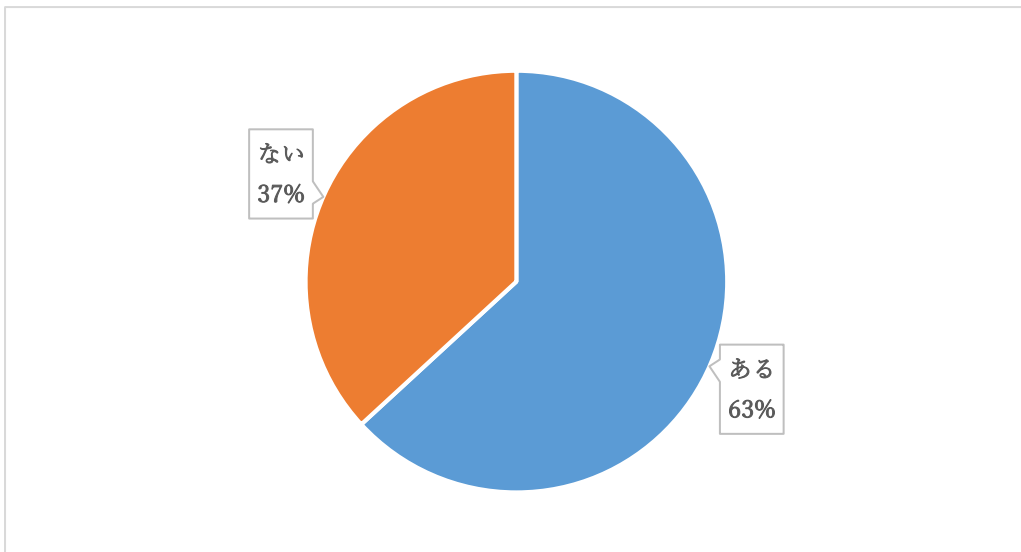
- 受け入れはしていないが、地区外の人が勝手に捨てていく
- 把握していない
- 未加入の人は税金を払っているので、ゴミを出すのは当然といっている

(5) (4) であると答えた方のみお答えください。ごみ受け入れの条件はありますか。

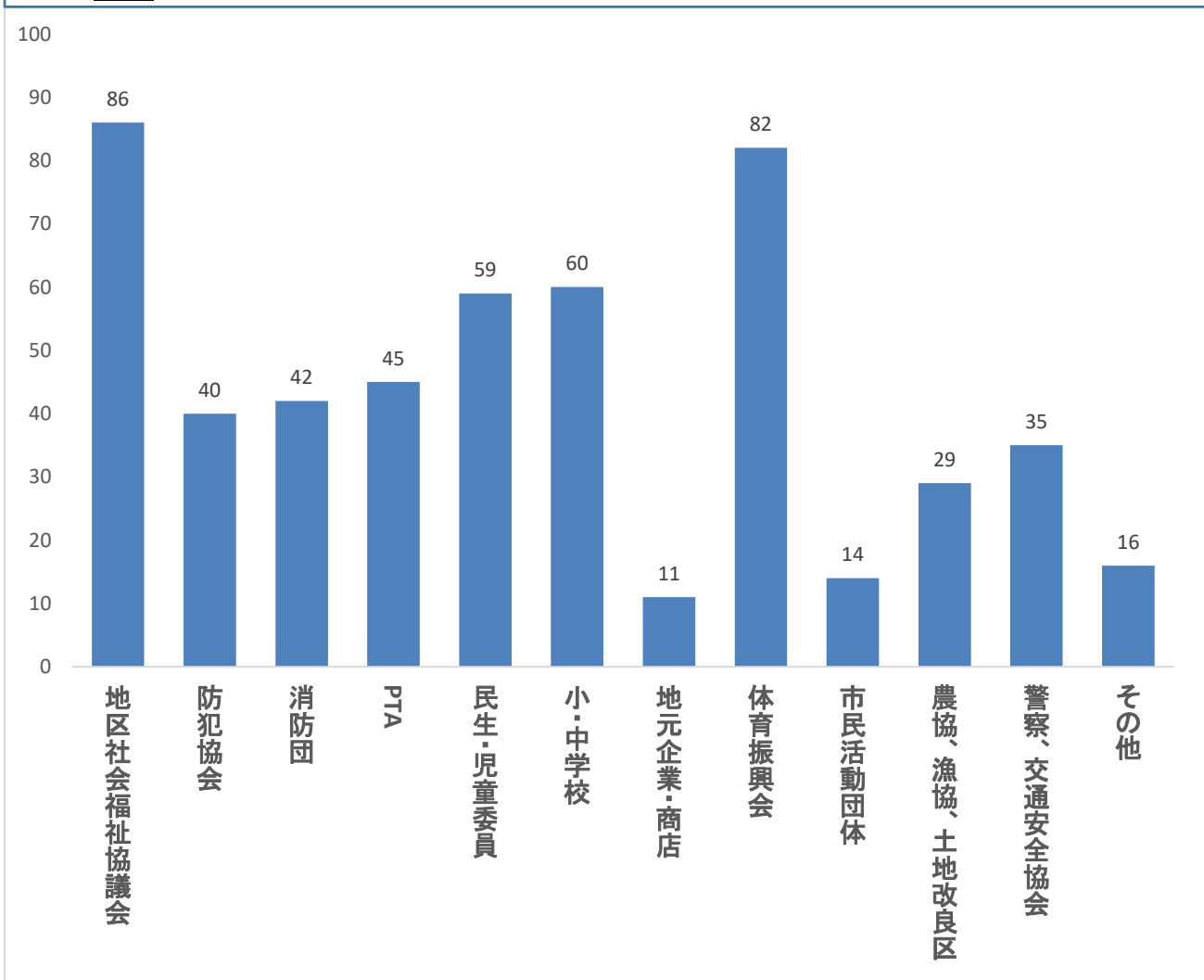
- ごみ当番、ごみステーションの清掃、環境美化活動への参加
- ごみステーション設置負担金、協力金（年間1000円から15000円）

・分別などルールを守って出す

(6) 自治会活動において地域の他の団体、組織と連携して事業を行うことがありますか。



(7) (6) であると答えた方のみお答えください。現在、連携して事業を行っている団体すべてに○をしてください。

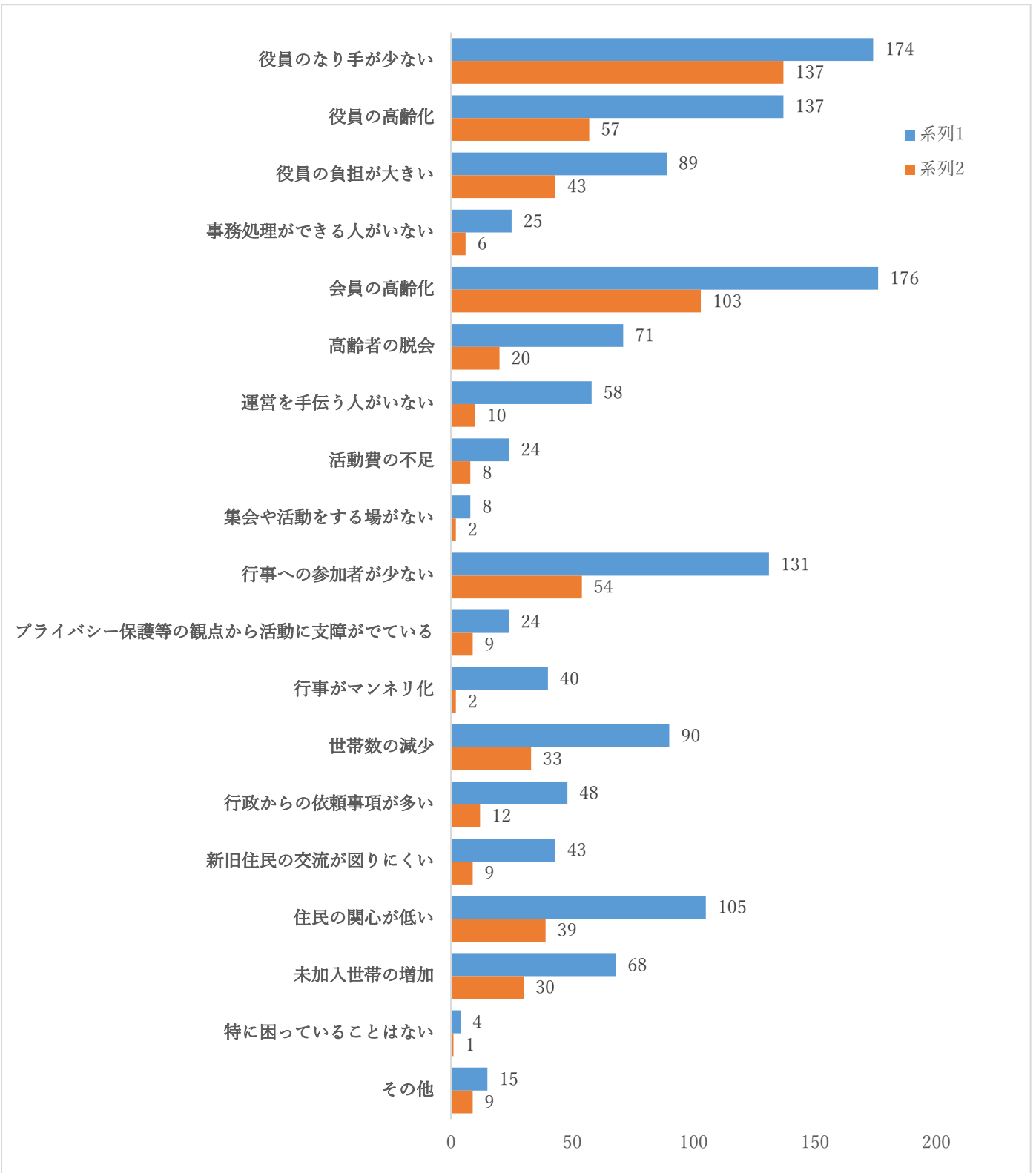


連携して行っている事業内容を記入してください。

・校区運動会、各種スポーツ大会、独居老人見守り、交通茶屋、防災訓練、敬老会、募金、健康ウォーキング、夏祭り、文化祭、防犯パトロール、ほたる祭り、冬まつり、クリスマス会、いきいきサロン

5 自治会運営上の課題

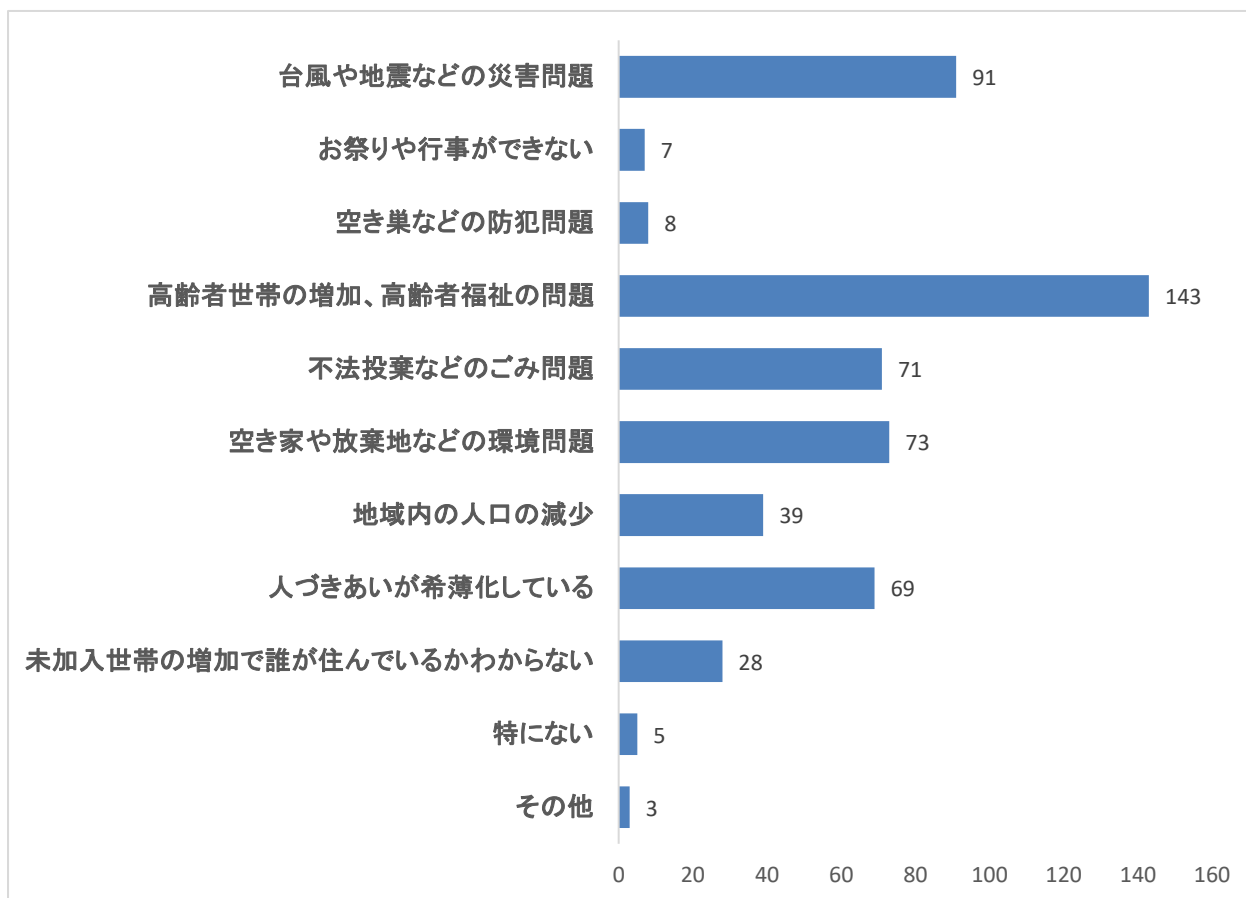
- (1) 自治会を運営するなかで、どのようなことに困っていますか。該当するもの全てに○をしてください。(複数回答可)
- (2) (1) で○をした①から⑱の事項のうち、大きな課題を3つまで選んで番号でお答えください。



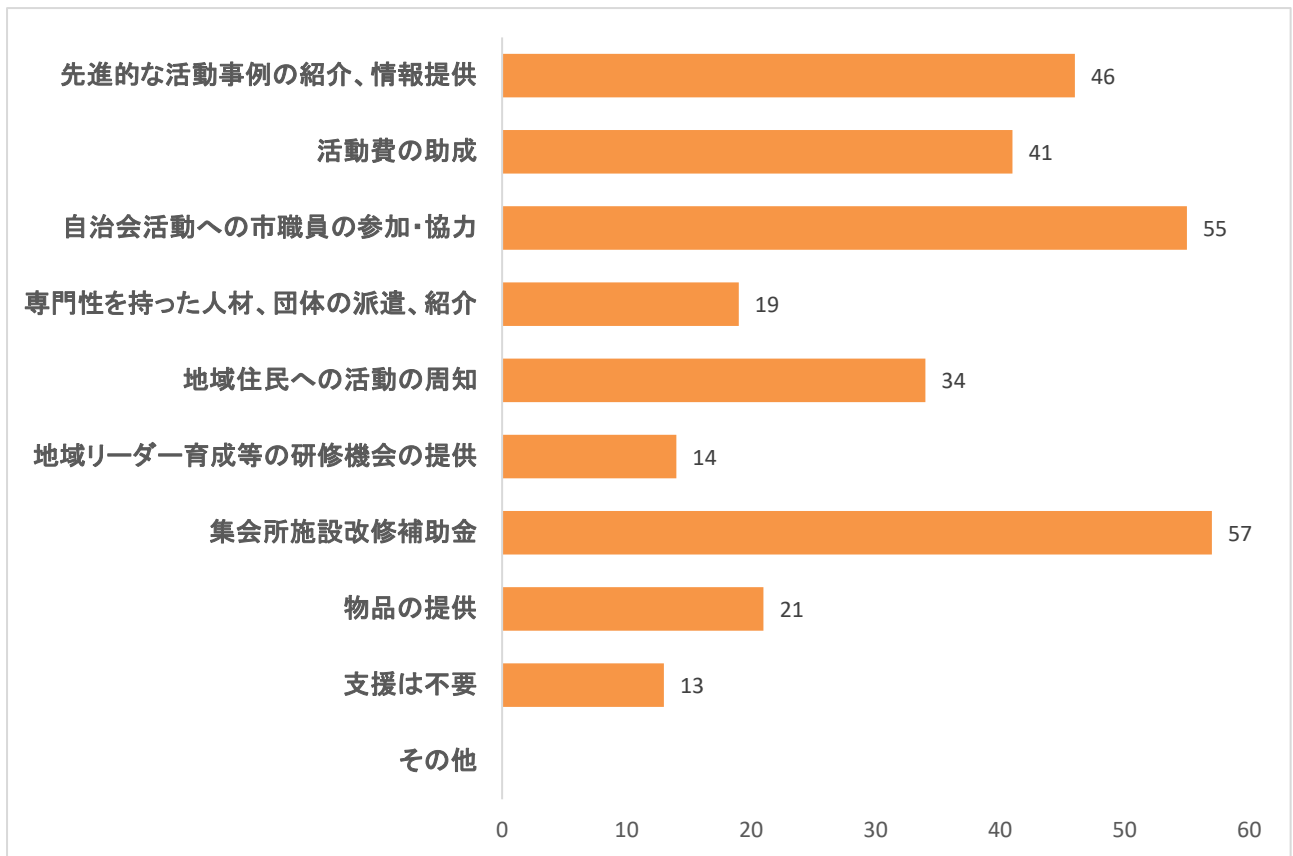
(3) (2) で取り上げた課題について、貴自治会では課題解決のための取り組みを検討・実施していますか。検討・実施されている場合は、その取り組み内容をご記入ください。

- 役員の負担の軽減、仕事の分担化検討
- 役員の選出は輪番制で出すようにしている
- 行事の縮小等で役員の負担を軽減するよう検討している
- 住民の人たちに見える自治会活動（見えるか化活動）に心がけ、関心を持ってもらうようにしている
- 組の見直しを検討し、極力平準化する方向性を模索している
- 役員の仕事の合理化を図る。なるべく時間と手間がかからないように工夫している。（役員の負担が大きいための自治会脱退が増えているため）
- 役員に強制しない。関心を高めるため自治会広報誌を年5～6回発行
- 高齢化に伴う役員の負担を低減するため、すべての役員の輪番制を堅持している。前の会長が副会長として残り、新会長の負担を低減するように協力させている。
- 平成30年度より青壮年部を創設した。自治会活動のより活性化を図り、三世代交流の中心となり自治会行事でも中心的役割をしています

(4) 現在、地域で抱えている問題や不安について、主なものを3つまで〇をつけてください。



(5) 自治会活性化に向けて、市からどのような支援が有効だと考えますか？（2つまで）



活動費助成の具体例

- 備品購入補助、行事費補助、非常食備蓄補助
- 集会所整備等補助金の補助率増
- 自治会長手当等

その他の支援

- 自治会未加入者への罰則
- ごみ問題に関する条例整備

6 自治会活動を行う上で日頃感じていること、自治会活動活性化のための提案などを、自由にご記入ください。

【環境美化に関すること】

ゴミに関する意見（11件）

- ごみステーションの完全化（道路へのゴミ出しを認めない）
- ごみ有料化の早期実現
- 未加入者のゴミステーション使用料を年間12,000円と条例で決めてほしい。加入者を増やす効果につながると思う。
- ゴミ袋を有料化し、連合自治会に加入している家庭は、ゴミ袋を無料にする。
- 大型ごみを自治会館で集めて、市で収集してほしい。（年2回程度）

- ・大型ごみ処理の有料化
- ・ゴミ収集の要請があっても安易に応じないでほしい。
- ・市がゴミを回収にいく基準をもっと厳しくしてはどうか。
- ・ゴミステーション設置費用の一部補助をしてほしい。
- ・ごみ処理問題で単位自治会への助成金をもっと増額してほしい。
- ・ゴミ集積場所をきれいにするため、3年前より自治会ステーションをアルミ製のものに毎年1か所ずつ新設している。
- ・資源ごみ回収時の運搬の補助

清掃・美化活動に関する意見（3件）

- ・高齢者世帯の増加により、清掃活動が年々弱くなってきており、地域内の美化ができていない。
- ・自治会内の公園や土手の木や草の手入れができず、不満を持っている。
- ・空き家の樹木放置で隣地や道路にはみだして車両、通行人に危険である。大変困っている。

【防災に関すること】（10件）

- ・東川の氾濫が心配である。台風による水害対策を根本から見直し計画して実行していただきたい。
- ・災害時に役立つ会員名簿の作成、高齢者の災害時の避難支援
- ・独居老人が増え、民生委員さん等対応してくれていると思うが、自治会として災害時や不明となった場合の対応の仕方がわからない。
- ・防災資機材の保管スペースがない。防災資機材は高額なため自治会として購入は難しい。
- ・防災用品、保存水、保存食のストックができない。資金不足
- ・自主防災に対しての行政のバックアップ
- ・渦井川の水量が台風時に増し、雑木、草に流れてきた樹木がひっかかり処分や災害への不安
- ・国領川の灌木、不法投棄は大雨での洪水の原因になるのではないか。洪水になって周辺住民に迷惑をかけてからでは遅い、もっと県に働きかけてください。

【自治会運営に関すること】

役員に関する意見（15件）

- ・役員の高齢化。自治会長のなり手がいない。
- ・世話人が固定化しており、後継者がいない。
- ・自治会長としての仕事が多く、若者はなり手がなく困っている。
- ・自治会のリーダーになることは、自己犠牲を必要といたします。リーダーになるときは皆様に請われて就任するのですが、意欲をもって自治会活動を始めるのですが、自治会活動に対する意識の希薄化は目を覆うばかりです。自治会の高齢者の増加、世帯数の減少、若いリーダーの育成の遅れ等々、自治会の活性化を図れていません。このままでは、伝統行事の祭りの継続もままなりません。
- ・役員、行事への参加、活動、会議などが一部の人に集中して不公平を感じる。
- ・自治会長の仕事と本来の仕事を両立していくことが難しい。一年間の約束で引き受けたが、二年目も続けてやっている。
- ・自治会活動を会員のみならず参加すれば役員の人たちが楽になれるのですが、毎年のことですが、役を離れれば知らんぷり。これでは自治会活動をするのも嫌になる。
- ・会長がリーダーシップをとり自治会を引っ張っていくべきである。
- ・役員による雑事が多い。

- ・自治会活動に公民館、PTA など単位自治会活動にプラス行事を組み、全て会長に負担がかかる。
- ・役員のなり手が少なく、同じ人がいくつもの役員を兼務することで負担が大きい。
- ・役員・班長の負担が大きいので、役員・班長さんには金銭的に優遇するなどの処理をしないと脱退する方が多くなります。例えば、役員になると自治会費が無料、班長なら半額などの優遇処置をとったらどうでしょうか。
- ・単位自治会に対しても、連自治会長並みの助成金を出すべきでは？

自治会加入のメリットについて（19件）

- ・自治会員と非自治会員との負担差がなく、非自治会員は会費はいらぬし、サービス面でも差が少ない。
- ・自治会加入者と未加入者、差が全くない。例えば、ゴミステーションへも自由に持ち込めるし、何ら自治会へ加入しなくても不自由がない。
- ・自治会加入について未加入者から特に言われるのが、メリットデメリットの問題です。自治会加入は相互扶助の問題でメリットデメリットの問題ではないと思うのですが、未加入者には理解できないようです。
- ・自治会員のメリットとデメリットを説明できなければ新規会員増は望めません。
- ・自治会は任意加入の団体である。加入のメリットがあれば入るし、デメリットが多いと入らない。ご近所との円滑なおつきあいや災害時の協力などのメリットはあるが、わずらわしデメリットが多すぎる。減らすべき。
- ・自治会に加入していると役員になる負担、自治会費納入のデメリットしかなく、特にこれと言ってメリットがないので脱会しますと言われる世帯が出てきて困っています。ごみも自治会に入らなくても出しているし、何か「自治会に加入していればこそ」のメリットがあればいいのにと困っています。
- ・自治会加入者への特典や未加入者との差別化が必要と感じる。
- ・自治会員には何か優遇されることを市から考えてほしい。
- ・自治会員に行事に参加していただくためにポイントカードなどを作成し、イベント参加数により自治会費を一部返金するなどすれば自治会行事に参加していただくと考えています。
- ・自治会員にタブレット端末を購入してもらい、市政だより、回覧、地区のイベント情報などが閲覧できるようにし、不審者情報や災害時の連絡手段の一つとして使用し、また、一人暮らしの高齢者の生存確認なども行えるようにする。さらに大型スーパーやイオングループなどと協力し、タブレット端末を所持していると買い物時に割引をするなど非自治会員との差別化、自治会に入るメリットが生まれると考える。
- ・連自治会が自治会カードを作り、自治会の幹部の方が新居浜市内の商店をまわり、理解してもらって自治会カードを見せれば5%引きにするとかすればメリットが生まれます。
- ・ゴミ袋を有料化し、連自治会に加入している世帯は無料にする。方法としては、連自治会がゴミ袋を購入し、連自治会には市がその費用を交付金として支給します。そうすれば未加入者だけが費用を負担することになり、自治会加入者と未加入者の差別化が図れることとなります。

自治会行事について（9件）

- ・会員同士の交流を図るため、いろいろなイベント等を企画し手伝ってくれる人材が欲しい。
- ・若い人の参加が少ない。いろいろな行事があっても同じ人の参加で、防災訓練も毎回参加者が同じなのであまり意味がないと思う。

- ・行事に高齢者の参加がない。
- ・文書や放送塔で諸行事の案内をしているが、参加者はほとんど決まった人である。回覧板等で案内しても十分読んでもらっていないため、周知が難しい。
- ・公民館行事等で高齢化及び共働き夫婦の増加により、内容の変更・中止を考える必要がある。
- ・自治会単独の行事は全てやめて、連合自治会の行事に参加する方法をとっている。活性化よりも現状維持に重点を置いている。
- ・活動に参加するのはいつも同じ人。

人材活用（5件）

- ・自治会内の若手をいかに活用していくか。青年団との協力関係を活用していく。他校区との協力を考えている。
- ・青年部との親睦交流を図り、諸行事の活性化に努力している。
- ・役員に40代、50代の自治会員に活動していただき、部長及び区長等で自治会活動活性化のために計画実行していただきたい。
- ・自治会長以外に地域活動を積極的に協力してくれる「協力員」を選任し、行事の準備・片付け作業を手伝ってもらっている。

その他（7件）

- ・社協、体振、赤十字のお金集めの組織として利用されるのは納得しがたい。負担が大きい。
- ・人づきあいが希薄化している現代社会において、自治会活動を活性化させることは極めて困難。
- ・自治会費の負担が少なくなれば加入も増えると思います。年会費が払えずやめていった自治会員もいます。
- ・地域に元からいる人と新規の若い人との交流の機会が少ない。
- ・自治会員以外の人のお世話を要請に疑問。援助を受けるなら仲間に入る。

【連合自治会に関すること】（8件）

- ・連合の行事をもう少し減らしてほしい。自治会費の半分近くは連合に払っている。単位自治会の行事費が残らない。
- ・連合自治会の行事が多すぎるため、会長になうると負担が大きい。
- ・校区の連合ばかりいい思いをして、自治会まで行き届いていない。
- ・連合自治会長会は各自自治会への連絡事項の一方通行の議事運営です。今後要望として参加自治会の意見、要望を聞く時間も検討してほしい。
- ・世の中の考え方は変わってきているのに、市や連合自治会が求めること、行事などは数十年前とほとんど変わっていない。
- ・古参の自治会長の声が大きく小世帯の自治会や新しい自治会長さんは、このような考え方や意見に従わざるを得ない。単位自治会が主体性をもって活動し、上部組織は情報交換や親睦交流程度でよいのではないかと。

【新居浜市への要望】（14件）

- ・金婚式の該当者を見つけるのに困っている。一概にプライバシーを掲げるのではなく、市からの情報がほしい。
- ・災害時には避難場所になっている自治会館の維持管理費をせめて全額負担してほしい。

・自治会館は災害時の一時避難場所となっているが、老朽化しており、建て替えようにも資金面が過重負担となり大変難しい。地域住民が安心して快適に使用でき、災害時の拠点となる自治会館とするため、今以上の補助が必要である。

・行政等から配布、回覧文書など、依頼されるものが多すぎる。厳選してほしい。

・市がしなくてはいけないことを自治会活動になげかけが余りにも多いので少なくしてほしい。

・事業交付金などをもっと簡単な手続きで支給できるようにしてほしい。

・活動費の助成をお願いしたい。(補助金の増額と対象活動)

・自治会長の激務を考えると、市は何らかの形で手当てのようなものを出すべきではないか。

・インターネット接続は市の情報や防災情報の入手に不可欠であるが、市の助成がないのはおかしい。通信費を助成すべきだ。

・自治会未加入者に対して、ゼロにするために市がもっと本腰を入れて取り組んでほしい。全市の加入は50%を切ろうとしている状態は危機的であると認識しているのではないか。

・自治会員の退会による会員数の減少が大きい問題となっている。また、ごみ問題(不法投棄等)も解決策がなかなか見つからない。市は自治会をどのように考えているのか。このまま何も手を打たなければ自治会組織は崩壊すると思われる。上記問題に対して市の積極的な対応が望まれる。